



会 議：国際標準化機構（ISO）船舶及び海洋技術専門委員会（TC 8）救命及び防火分科委員会（SC 1）救命作業委員会（WG 1）ボルドー会議

開催場所：Bordeaux Municipal Hall - Athénée-Père Joseph Wresinski：仏国・ボルドー

会議期間：2017年11月20日～22日

参加者：リエゾンを含む7カ国11名

海技研からの出席者：宮崎恵子：知識・データシステム系 副系長（国際連携センター併任）

概要：

ISO/TC 8/SC 1/WG 1（以下、WG 1と記す。）は

- 「膨脹式救命器具のガス膨脹システム」と「救命艇及び救助艇のためのシーアンカー」の規格改正原案に基本的に合意し、それぞれ DIS 投票及び FDIS 投票に進むことに合意した。
- Hydrostatic release units の規格改正、極海コードに対応する救命設備及び救命艇等の整備に関する新規作業計画について審議した。

主な貢献

宮崎は、プロジェクトリーダー（以下、PL と記す。）として、これまでの審議経過を踏まえて作成した「膨脹式救命器具のガス膨脹システム」と「救命艇及び救助艇のためのシーアンカー」の規格改正原案について説明の上、合意を図り、規格作成の進展に貢献した。また、新規作業項目として準備を進めている極海コードに対応する救命設備の規格案及び救命艇等の整備に関する規格案の審議に貢献した。



ISO/TC 8/SC 1 ボルドー会議参加者（最終日）  
日本から参加の（一財）日本船舶技術研究協会川竹氏撮影



## 主な審議結果

主な審議結果は以下の通りである。審議結果の詳細については、他機関の報告を参照願いたい。

### 1 ISO 15738 膨張式救命設備のためのガス膨張システム

WG 1 は、PL (宮崎) がこれまでの審議経過を踏まえて作成した規格改正原案を審議し、改正内容について合意した。PL が改正の経緯をインフォメーションに追記し、WG 1 の承認後、国際規格案 (DIS) 投票に進むこととなった。

### 2 ISO 17339 救命艇及び救助艇のためのシーアンカー

WG 1 は、PL (宮崎) がこれまでの審議経過を踏まえて作成した規格改正原案を審議し、改正内容については合意した。他の ISO 規格を引用している材料の強度試験について、PL が試験内容を明記する修正を行い、WG 1 の承認後、最終国際規格原案 (FDIS) 投票に進むこととなった。

### 3 ISO 18079 膨脹式救命設備の整備

本シリーズは、FDIS 投票で 5 つの規格すべてが承認された。WG 1 は、第 1 部一般規定と第 5 部膨脹型救助艇のエディトリアルなコメントについて審議し、修正案を作成した。ISO 規格としての発行に向けて、WG 1 議長がまとめて ISO 中央事務局に提出することとなった。

### 4 その他の ISO 規格の状況

「ISO 19912 イマーション・スーツ、耐暴露スーツ及び常時着用型スーツの整備」は委員会原案 (CD) 投票で承認され、WG 1 は、投票時のコメントについて審議し、修正案を作成した。「ISO 19898 落水者等の回収装置」は、CD 投票での承認後、PL (アイスランド) による進展がなく、WG 1 議長が進捗を確認することとなった。「ISO 19897 退船システム (生存艇乗込装置) - 着氷条件」は、DIS 投票で承認され、WG 1 は、投票時のコメントについては、中央事務局の判断に任せることとした。「ISO 15734 水圧離脱装置 (改正)」は、新規規格提案 (NP) 投票で承認された。WG 1 は、投票時の日本からの「従来型は残すこと」というコメントに賛成した。改正の主な目的である使い捨て型の内部の金属部分の腐食に対する試験方法については、引き続き情報収集することとなった。

### 5 新規 ISO 規格の状況

極海コードに対応する救命設備の性能要件については、国際海事機関 (IMO) 船舶設備 (SSE) 小委員会で審議が進んでいることを踏まえ、WG 1 での規格作成について審議した。その結果、日本が 2016 年 12 月の WG 1 プール会議に提出した文書 (IMO/SSE 4/INF.3 として日本が IMO に情報提供) に基づき、カナダが規格原案として作成し、さらに審議を継続することとなった。

救命艇等の整備に関する新規規格については、新規規格項目の提案者である ILAMA から、この規格の推進の立場と反対の立場の 2 者が今次ボルドー会議に出席し、それぞれの主張を述べた。しかし、規格原案が未完成で、文書の配布がなされなかったため、議論が深まらず、ILAMA が規格原案を作成し直すこととなった。

### 6 次回会合

次回の SC 1 及び同 WG 1 会合は、2018 年 5 月にパナマで開催される予定である。